

Top Message

社長メッセージ

お客様の“一生のパートナー”で
あり続けるために



平素より、当社社業に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は「一生涯のパートナー」として選ばれ続け、人々の安心で豊かな暮らしにお役に立つことを目指しています。

ご契約者からお預かりした保険料を積み立て運用する一方、日々、全国約4万4,000名の生涯設計デザイナーが、生命保険を確実に活用いただくために活動しており、2018年度には1兆5,589億円(1日当たり約43億円)の保険金・給付金をお受け取りいただくことができました。近年では3大疾病(がん・心筋梗塞・脳卒中)等、生前給付型のお支払いが増加傾向にあります。これまでも、死亡保障に加え、医療・介護・貯蓄など、商品ラインアップの充実を図ってまいりましたが、今後も時代のニーズに応じた「プロテクション(保障)」をご提供していきたいと考えています。

加えて、「人生100年時代」といわれる長寿社会に向けて、健康増進や病気の重症化予防といった「プリベンション(予防・早期発見)」にも事業領域を拡げています。例えば、当社が保有するビッグデータ解析により健康診断の有効性に着目し、生涯設計デザイナーのネットワークを通じて、健康診断やがん検診の受診勧奨活動を推進するとともに、2018年3月にはご契約時に健康診断結果を提出いただくだけで保険料を割引く「健診割」を付帯した新商品「ジャスト」を発売しました。おかげさまで多くのご支持をいただき、2019年4月末時点で100万件を超えるご契約をいただきました(P.20)。また、2018年12月に発売した「かんたん告知『認知症保険』」では、ご加入者本人に対する「予防・早期発見サービス」に加え、ご加入者の認知症予防に向けた活動状況をご家族も確認できる「予防プログラム」、緊急時に電話依頼で警備保障会社が訪問する「代わりに訪問サービス」など充実したサービスを付帯しました(P.21)。

現在、我が国では、少子高齢化の進展や低金利の継続等、大きな構造変化が起こると同時に、ライフスタイルは多様化し、「QOL(Quality of Life)」、つまり、一人ひとりが自分らしい生活や人生を実現したいという声が高まっています。このような変化の中においても、当社は“リスクをシェア”できるという生命保険事業が持つ強みを最大限に活用した「プロテクション(保障)」を提供するとともに、「プリベンション(予防・早期発見)」の手段も併せてご提供することで、お客さま一人ひとりの「QOL」向上に貢献できるように努めてまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

第一生命保険株式会社
代表取締役社長

稲垣 精二